

氏族連合体・日本の原住民  
『土蜘蛛 [クズ・サエキ・ヤツカハギ・鬼・蛇(オロチ)] ・エミシ・アイヌ』  
人間国土防衛の歴史とアイヌの口承文芸 I

— C O N T E N T S —

I. 九州【熊本・鹿児島】にアイヌ民族の痕跡を求め取材・調査行を実施	1
1. 熊本県・益城町朝来山にて「鬼の窟古墳」を取材。 (ヤマトに抵抗した土蜘蛛「ウチサルとクビサル」との関係)	1
2. 同・宇城市不知火町にて不知火(シラヌイ)撮影、観測会	2
3. 同・天草市にて天草市立本渡歴史民族資料館を取材 (アイヌのイナウと類似する木製造形物の「ナレナレ木」を撮影)	3
4. 同・宇城市にて松合郷土資料館を取材 (シラヌイ関係資料常設展示)	4
5. 同・八代市東陽町にて「菅原神社」を取材 (シラヌイ伝承と関係性の深い「白髪天神」を祀る)	5
6. 同・八代市東陽町にて「川俣阿蘇神社」を取材 (シラヌイの降下現象を伝承する)	5
7. 同・八代市東陽町にて「山の神神社」を取材	7
8. 鹿児島県・霧島市にて「上野原縄文の森展示館」を取材	7
9. 同・霧島市にて「霧島市立隼人塚史跡館」を取材	8
10. 熊本県・熊本市にて「熊本博物館」を取材	10
11. 同・熊本市「山鹿市チブサン古墳」にて『チブサンセレマニー・メッセージ(チブサンの誓い)』を朗読	10
12. 同・山鹿市にて「鍋田横穴古墳群」を取材	12
II. 岐阜・長野・千葉(チバニアン)調査・取材行 【アイヌ民族の痕跡・中央構造線の露頭・地磁気の逆転地層】	14
1. 岐阜県・高山市の飛騨高山まちの博物館、飛騨民族考古館を取材	14
2. 同・高山市丹生川町の「両面宿儺パネル展示館」を取材	14
3. 長野県・安曇野市穂高の「大王わさび農場」にて「魏石鬼八面大王神社他」を取材	16
4. 同・安曇野市穂高の「穂高神社」を取材	17
5. 同・安曇野市穂高有明の「穂高古墳群有明-1号墳 通称名魏石鬼岩窟」を取材	18
6. 同・安曇野市穂高有明の「穂高郷土資料館」を取材	18
7. 同・安曇野市穂高有明の「八面大王の足湯」を取材	20
8. 同・長野市小島田町の「長野市立博物館」を取材	20
9. 同・長野市松代町大室の「大室古墳館」「大室積石塚古墳群」を取材	21
10. 同・須坂市八町の「八丁鎧塚古墳群」を取材	22
11. 同・松本市筑摩の「筑摩神社」隣の「飯塚神社」にて八面大王の首塚に献花	23
12. 同・諏訪市中洲の「諏訪市博物館」にて「削りかけ他」を取材	25
13. 同・伊那市長谷の「中央構造線溝口露頭」を取材	26
14. 同・大鹿村鹿塩の「中央構造線北側露頭」を取材	27
15. 同・大鹿村大河原の「中央構造線博物館」を取材	27
16. 同・大鹿村大河原安康の「中央構造線安康露頭」を取材	28
17. 同・茅野市豊平の「尖石縄文考古館」を取材	29
18. 千葉県市原市田淵の「チバニアン(地磁気逆転地層)」を取材	31
III. 氏族連合体・日本の原住民『土蜘蛛 [クズ・サエキ・ヤツカハギ・鬼・蛇(オロチ)] ・エミシ・アイヌ』人間国土防衛の歴史とアイヌの口承文芸 I	33
① 日本の原住民(土蜘蛛・エミシ・アイヌ)などの死闘の歴史	35
◎土蜘蛛と竪穴住居◎	36
◎神武紀◎	37
◎常陸国風土記◎	37
◎ヤマトと死闘を繰り広げた日本各地の原住民一覧◎	39
② アイヌ文化期時代とは?	44
◎オキクルミカムイ(オйнаカムイ)の降臨とアイヌ文化の起源◎	48
③ アイヌの口承文芸に謡われた「ヒエ」の起源 オキクルミカムイ(オйнаカムイ)の降臨時を示唆する「ヒエ」の出土年代	51
④ アイヌの口承文芸に謡われた海獣狩猟具の「雌型鉆頭」の起源 ◎北海道・東北の鉆頭◎	61
◎北海道・東北の鉆頭◎	62
⑤ アイヌの口承文芸に謡われたアマッポ(自動発射弓矢・仕掛け弓)と毒の起源 ◎矢毒の歴史的記録◎	69
◎矢毒の歴史的記録◎	71
※ 引用・参考文献、図版	77